

2019(平成31)年度 沖縄国際大学入学試験問題（前期）
地域行政学科・経済学科・産業情報学科・日本文化学科・人間福祉学科(福祉)
【選択科目：地理 B】

注 意 事 項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけない。
2. 入学志願票及び受験票に記入された科目を解答すること。
3. 入学志願票及び受験票に記入された以外の選択科目を解答した場合は、無効とする。
4. 筆記用具は、鉛筆（HB）または、0.5 ミリのシャープペンシル（HB）に限る。
5. 問題の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせること。
6. 問題冊子の余白等は適宜利用してもよい。
7. 試験終了後、解答した解答用紙のみを提出すること。問題冊子は持ち帰ること。

2019(平成31)年度 沖縄国際大学入学試験問題(前期)

地域行政学科・経済学科・産業情報学科・日本文化学科・人間福祉学科(福祉) 【地理B】

※ 解答はすべて解答用紙に記入すること。

I 地球環境問題に関する以下の A、B の文章を読んで問いに答えなさい。

A

人間の経済活動は、自然環境を利用して成り立っている。生活に便利な製品は、石炭、**A**、天然ガスなどの化石燃料を使用し、自然の原料を加工して作られている。人口の増加や人間の経済活動の増加によって自然環境の破壊が進み、**①**、**②**や**③**などといった地球環境問題が顕在化してきた。

地球環境問題のひとつ、**B**とは、**④**と人間活動を含む多様な要因による土地と植生の劣化が進む状態であり、世界各地で見られるようになった。**B**が世界的に問題となったのは、アフリカの**⑤**の**⑥**に帯状に広がる**C**地域における土地の劣化がきっかけである。

C地域では、1970年代に深刻化した長期の**D**という自然の**④**に加えて、**⑦**が重なって**B**が進行した。1つ目の要因は、**C**地域では人口が急増して薪の需要が増加し、わずかに生育する樹木の**⑧**が進んだことである。2つ目の要因は、増えた人口分の食料を補うため、土地を休ませることなく、何度も同じ作物を栽培するなど、**⑨**も進んだことである。3つ目の要因は、**⑩**である。こうして、もともと少ない植物が人為的に取り尽くされ、広い範囲で植物が再生できなくなった。

問1 **A** ～ **D** にあてはまる語句を記入しなさい。(各2点)

問2 **①** ～ **⑩** にあてはまる語を、下記の語群から選択して記号で答えなさい。

(各1点)

【語群】

- | | | | |
|----------|---------|-------------|------------|
| ア. 地球温暖化 | イ. 騒音 | ウ. エルニーニョ現象 | エ. オゾン層の破壊 |
| オ. 森林破壊 | カ. 気候変動 | キ. 人為的な要因 | ク. ナミブ砂漠 |
| ケ. サハラ砂漠 | コ. 北縁部 | サ. 南縁部 | シ. 過放牧 |
| ス. 過耕作 | セ. 過伐採 | | |

問3 下線 a の内容について、図1、図2を参考にして、**C** 地域で、**B** が進行した要因について、説明しなさい。(4点)

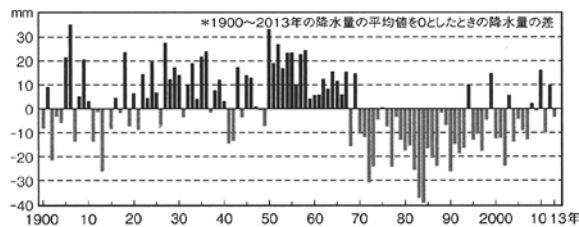


図1 **C** 地域の降水量の変化

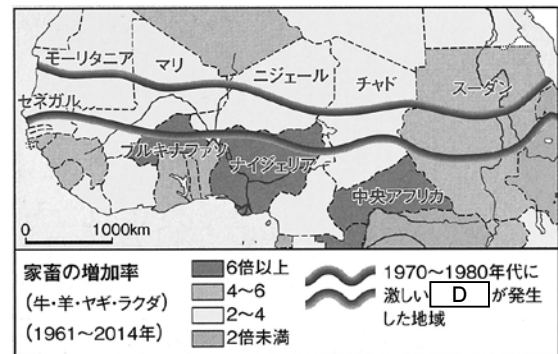


図2 **C** 地域周辺の家畜の増加率

B

石炭や **A** などの化石燃料を燃やした際、排ガスに含まれる窒素酸化物や硫黄酸化物などの物質が雨に溶けると、硝酸や硫酸という強い酸性物質を含んだ **E** となる。かつてヨーロッパでは、1980年代までのドイツのシュヴァルツヴァルトや北ヨーロッパ諸国で **E** 被害が頻発した。近年は、BRICS 諸国や、バンコクやメキシコシティなどの発展途上国の都市では、工業化の進展と経済重視による公害対策の遅れから、大気汚染の問題が深刻になっている。大気汚染は、偏西風や季節風に乗って発生源以外の国にも広がるため、国を超えて広がる越境大気汚染が問題になっている。

問4 **E** にあてはまる語句を記入しなさい。(2点)

問5 下線 b について、該当する国をすべて書きなさい。(5点)

問6 下線 c について、日本に近年飛来して問題となっている物質は何か、どこから飛来し、どのような問題が発生しているか、なるべく詳しく説明しなさい。(4点)

Ⅱ 次の文を読んで以下の問いに答えなさい。

企業は原材料を工場で加工して製品をつくり、市場で販売する。そのときに原料産地と市場との位置関係を¹⁾考えて、製品を輸送する費用や生産にかかわる費用が最も節約できる場所に工場を立地させる。立地決定に直接作用するものを ① という。これに対して工業の立地に影響する条件を ② という。

ところで鉄鋼業やセメント工業のように原料の取れる場所が a ており、製品よりも原料の重量が b 工業は ③ が最小となる原料指向型工業がある。代表的な例としては c や d などがある。一方、市場指向型工業は水や空気など e 得られる原材料のため ③ が最小となる市場(都市)の近くに立地する。また、大都市には多くの情報が集まるという特性を生かして ④、⑤ などの特色ある大都市型工業が展開している。そのほか工業の立地のタイプには、交通指向型工業や労働力指向型工業がある。

現代の工業では、分業が高度に²⁾発達して部品の輸送や各種取引の規模の拡大と複雑化によって関連工業が特定の場所に³⁾集積し工業地域を形成する。とくに自動車や電気機器などの ⑥ 型工業にその傾向が強い。

問1 文中の ① ～ ⑥ に適切な語句を記入しなさい。(各2点)

問2 下線1)の立地論を一般的に何と呼ばれているか記入しなさい。(2点)

問3 文中の a ～ e に入る語句を下の語群から選んで番号で答えなさい。(各1点)

【語群】

- (1) どこでも (2) 限られ (3) 大きい (4) 軽い (5) IC 産業
(6) 清涼飲料水 (7) 鉄鋼業^{※1} (8) セメント工業 (9) ビール工業 (10) 鉄鋼業^{※1}

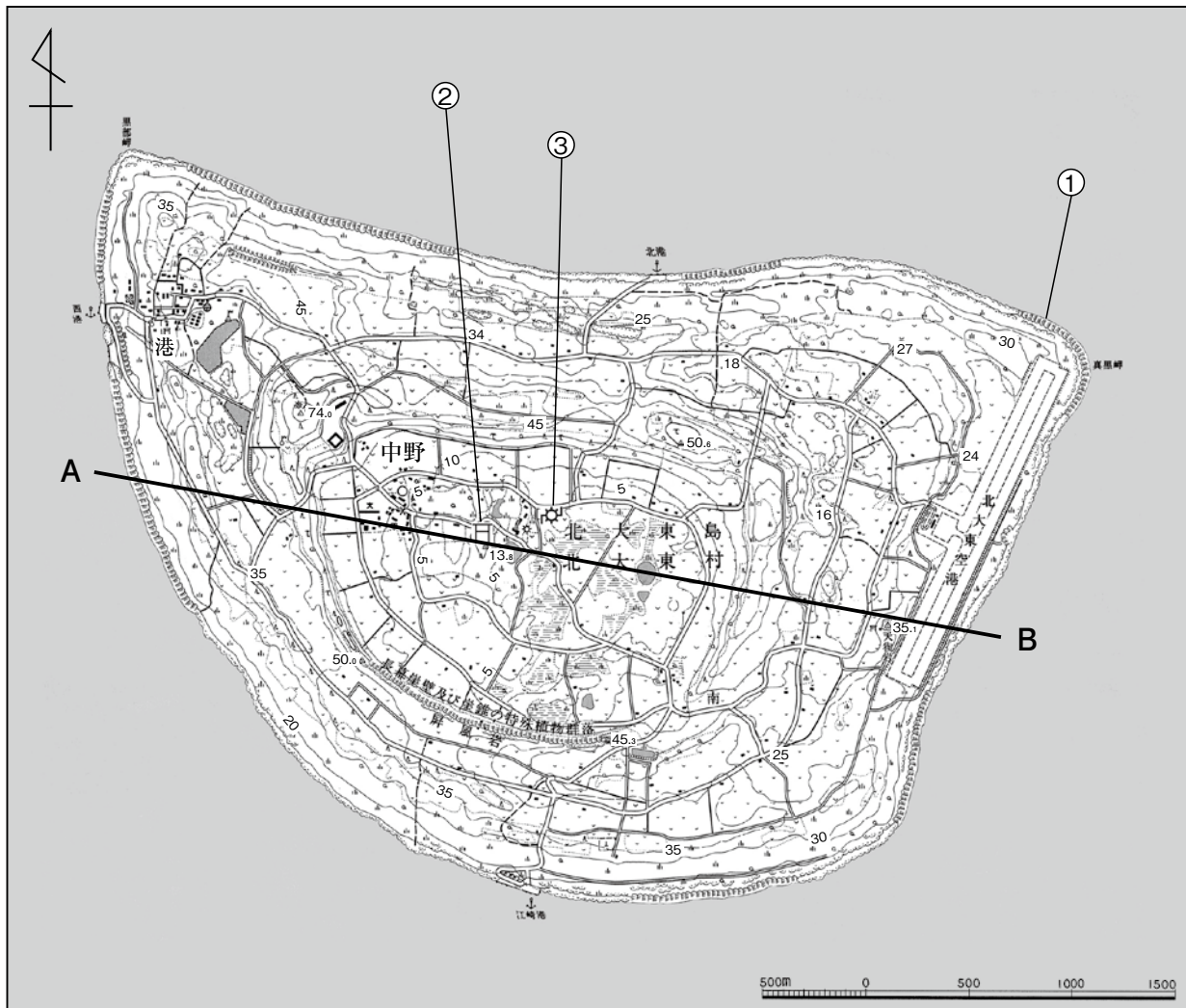
問4 下線2)の交通指向型工業の特色と具体的な工業の例(工業製品・具体的工業地域)について説明しなさい。(5点)

※1 選択肢(7)及び(10)についてはどちらを選択しても構いません。
なお、上記選択肢の重複については試験中に判明しましたが、採点や合否に影響はありません。

問5 下線2)労働力指向型工業の特色と具体的な工業の例（工業製品・具体的工業地域）について説明しなさい。（5点）

問6 下線3)の関連工業が特定の場所に集積によってもたらされる利点について説明しなさい。（4点）

Ⅲ 「北大東島」の地形図を見て、下記の問いに答えなさい。



(平成 13 年 2 月 1 日発行)

- 問 1 地形図中央部に記載されているような、等高線の間隔が広い場合の地形の特色を答えなさい。(2 点)
- 問 2 島の多くの部分を囲む①の地形は何か。その地形名を答えなさい。(2 点)
- 問 3 地形図にある②と③の記号は何か。その名称を答えなさい。(各 2 点)
- 問 4 北大東島の地形の特徴を知るために、A—B の線上の等高線を読み取り、地形断面図を作成しなさい。(6 点)
- 問 5 北大東島は、島全体が石灰岩で形成されている。島の地質・地形と水文環境の特性を答えなさい。(5 点)

問6 北大東島にある集落（港区・中野区）の立地と村落形態の特性を答えなさい。（5点）

問7 北大東島の農業的土地利用の特徴について答えなさい。（5点）

問8 北大東島と沖大東島をあわせた北大東村では、沖縄本島から遠く離れ、戦後は農業に依存してきた産業構造のため、地域的問題がいくつかみられる。地域的問題を挙げて、その特徴を説明しなさい。（5点）